

# 中国語学中国文学専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日	講時	頁
中国文学概論	中国の恋愛詩(ウラ文学史)	2	佐竹 保子	3	木	1	1
中国文学概論	中国の小説と戯曲	2	土屋 育子	4	木	1	2
中国文学基礎講読	中国語実用文法研究	2	土屋 育子	3	水	4	3
中国文学基礎講読	現代文読解による中国語実用文法研究	2	矢田 尚子	4	水	4	4
中国語基礎演習	中級会話	2	馬 暁地	3	月	5	5
中国語基礎演習	中級会話	2	馬 暁地	4	月	5	6
中国文学各論	唐詩と唐代社会(胡曾の《詠史詩》)	2	馬 暁地	5	火	4	7
中国文学各論	唐詩と唐代社会(胡曾の《詠史詩》)	2	馬 暁地	6	火	4	8
中国文学各論	中国の詩学	2	川合 康三	集中(5)			9
中国文学演習	中国の通俗文学を読む	2	土屋 育子	6	水	4	10
中国文学演習	中国の通俗文学を読む	2	土屋 育子	5	水	5	11
中国文学演習	中国当代文学研究	2	馬 暁地	5	木	2	12
中国文学演習	中国当代文学研究	2	馬 暁地	6	木	2	13
中国文学演習	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	5	金	1	14
中国文学演習	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	6	金	1	15

科目名：中国文学概論／ Chinese Literature (General Lecture)

曜日・講時：前期 木曜日 1 講時

semester：3, 単位数：2

担当教員：佐竹 保子（教授）

講義コード：LB34101, 科目ナンバリング：LHM-LIT202J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

中国の恋愛詩（ウラ文学史）

2. Course Title (授業題目)：

Love Poetry in Chinese Classical Literature: Looking for Another Side of Chinese Literary History

3. 授業の目的と概要：

【目的】

1. 中国紀元前10世紀頃から紀元11世紀頃までの古典詩について、恋愛詩をてがかりにしながら、理解を深めます。
2. いわゆる「漢文」の構造、古体詩と近体詩の違い、近体詩の格律（きまり・法則）など、基本知識をおさえます。

【概要】

中国古典は、ヨーロッパや日本の文学と違って、恋愛をテーマにすることが少ないとされます。確かに、恋愛より友情をうたうほうが常道です。しかしそもそも作品の絶対数が膨大なので、恋愛をうたう詩文も少なくありません。「あなたに逢いたい」というシンプルな恋いうたから、恋愛そのものの日くいいがたさを表現する象徴詩まで、傑作に事欠きません。

恋愛文学には、最適の賞味期間があります。皆さんは、そのただ中に居ます。賞味期間の過ぎないうちに、高校までの「漢文」にはまず出てこない、中国文学の非正統的にして不可欠な一面にぜひ触れてください。

4. 学習の到達目標：

1. 中国文学史の前半を知る。
2. いわゆる「漢文」の構造を知る。
3. できれば白文が読めるようになる。
4. いわゆる「漢詩」の法則と種類を知る。
5. できれば返り点送り仮名ナシの「漢詩」が読めるようになる。
6. 中国古典文学を、他の地域のそれと比較できるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. オリエンテーションと時空の確認
2. 『詩経』の恋うた (1) ——東アジア最古の恋愛詩
3. 『詩経』の恋うた (2) ——3000年前のギャル？
4. 漢代と南朝の民歌 (1) ——軍楽隊が恋を歌う
5. 漢代と南朝の民歌 (2) ——かけことばの饗宴
6. 陶淵明のうた (1) ——夏目漱石と魯迅の中の陶淵明
7. 陶淵明のうた (2) ——陶淵明はストーカー？
8. 盛唐の杜甫 (1) ——獄中の愛の詩
9. 盛唐の杜甫 (2) ——おじさんが新妻になりかわる？
10. 中唐の李賀 (1) ——沢木耕太郎の中の李賀
11. 中唐の李賀 (2) ——死せるひとの恋
12. 晩唐の李商隠 (1) ——missing you
13. 晩唐の李商隠 (2) ——恋愛そのものの描出
14. 宋代の李清照 (1) ——古典中国の女流詩人
15. 宋代の李清照 (2) ——彼女の恋したものは？

6. 成績評価方法：

出席 (50%)

筆記試験 (50%)

7. 教科書および参考書：

教科書は、プリントを配布します。

参考書は、授業中に適宜紹介します。

8. 授業時間外学習：

プリントは少し早めに配るので、所載の文の構造や、詩の対句・押韻について、見当をつけておいてください。

9. その他：

**科目名：中国文学概論／ Chinese Literature (General Lecture)**

**曜日・講時：**後期 木曜日 1 講時

**セメスター：**4, **単位数：**2

**担当教員：**土屋 育子 (准教授)

**講義コード：**LB44101, **科目ナンバリング：**LHM-LIT202J, **使用言語：**日本語

**1. 授業題目：**

中国の小説と戯曲

**2. Course Title (授業題目)：**

Chinese Novel and Drama

**3. 授業の目的と概要：**

中国の小説・戯曲は、伝統詩文との関わりを保ちつつ、豊かな発展を遂げてきました。本講義では、「小説」と戯曲の起源を理解し、歴史的社会的背景をもとに中国の小説・戯曲がどのように発展してきたのかを、原文資料をもとに学びます。授業を通して、受講者の中国の小説と戯曲に対する基礎知識の再確認と理解を深めることを主たる目的とします。

**4. 学習の到達目標：**

- (1) 中国文学史 (小説・戯曲) について知識を深める。
- (2) 中国の小説・戯曲の特徴を、多角的に考察し、自分の言葉でまとめられる。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

作品の背景、作者、概要を説明し、原文を用いて作品を鑑賞します。

- 第一回 ガイダンス・志怪小説
- 第二回 唐代伝奇
- 第三回 宋元の小説
- 第四回 短篇白話小説
- 第五回 演劇史 (1)
- 第六回 演劇史 (2)
- 第七回 『三国志演義』 (1)
- 第八回 『三国志演義』 (2)
- 第九回 『水滸伝』 (1)
- 第十回 『水滸伝』 (2)
- 第十一回 『西遊記』 (1)
- 第十二回 『西遊記』 (2)
- 第十三回 『金瓶梅』
- 第十四回 清代の小説・戯曲
- 第十五回 まとめ

**6. 成績評価方法：**

- 出席：50%  
レポート：50% (レポート課題は講義の最終回に指示)

**7. 教科書および参考書：**

テキスト：プリント配布

参考書：授業中に紹介

**8. 授業時間外学習：**

授業中に紹介する参考書等を積極的に読み、講義内容の理解の参考にしてください。

**9. その他：**

科目名：中国文学基礎講読／ Chinese Literature (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：土屋 育子 (准教授)

講義コード：LB33403, 科目ナンバリング：LHM-LIT213J, 使用言語：2カ国語以上

1. 授業題目：

中国語実用文法研究

2. Course Title (授業題目)：

Chinese Grammar

3. 授業の目的と概要：

本講義は、中国語学習歴半年以上の学生が、中国語のリスニング、作文、スピーキングなどの演習を通して、中国語によるコミュニケーション能力・表現能力の向上を目指します。

(中国語を未履修の方は、事前にご相談ください。)

なお、この授業は講読演習を兼ねています。

4. 学習の到達目標：

(1) 現代中国語の文法について基礎的な事項を理解する。

(2) 基礎的な作文能力をつける。

(3) 基礎的な読解力を確かなものとする。

(4) 中国語の発音をブラッシュ・アップする。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第一回 ガイダンス

第二回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (1)

第三回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (2)

第四回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (3)

第五回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (4)

第六回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (5)

第七回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (6)

第八回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (7)

第九回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (8)

第十回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (9)

第十一回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (10)

第十二回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (11)

第十三回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (12)

第十四回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (13)

第十五回 期末試験

6. 成績評価方法：

授業への取り組み、出席：50%

期末試験：50%

7. 教科書および参考書：

教科書については、初回に指示します。

辞書は、小学館『中日辞典』『日中辞典』、または、講談社『中日辞典』『日中辞典』などを用意してください。

8. 授業時間外学習：

毎回、辞書を用いた予習・復習を求めます。

9. その他：

**科目名：中国文学基礎講読／ Chinese Literature (Introductory Reading)**

**曜日・講時：**後期 水曜日 4 講時

**セメスター：**4, **単位数：**2

**担当教員：**矢田 尚子 (教授)

**講義コード：**LB43405, **科目ナンバリング：**LHM-LIT213J, **使用言語：**2カ国語以上

**1. 授業題目：**

現代文読解による中国語実用文法研究

**2. Course Title (授業題目)：**

Study of Chinese Grammar through reading Chinese Contemporary Prose

**3. 授業の目的と概要：**

【目的】中国語学習歴1年以上の受講生を対象に、中国語のより高度な読解能力・運用能力を身につけてもらうことを目的として開講します。

【概要】現代中国語で書かれた随筆や短編小説を取り上げて精読します。それを通して、受講生が、これまでに学んできた中国語の基礎的な文法事項について再確認し、理解を深めるとともに、発音のブラッシュアップができるよう促します。授業ではテキストを輪番で音読し、読解しますので、受講生の十分な予習が求められます。なお、この授業は、中国語の講読演習を兼ねています。

**4. 学習の到達目標：**

- ①現代中国語で書かれた随筆文や短編小説を、辞書を使いながら読んで理解し、適切な日本語に訳すことができる。
- ②現代中国語の文法についての知識を習得し、文章の文構造を把握できる。
- ③現代中国語で書かれた文章を正しい発音で音読することができる。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

1. ガイダンス
2. 中国現代文読解 (1)
3. 中国現代文読解 (2)
4. 中国現代文読解 (3)
5. 中国現代文読解 (4)
6. 中国現代文読解 (5)
7. 中国現代文読解 (6)
8. 中国現代文読解 (7)
9. 中国現代文読解 (8)
10. 中国現代文読解 (9)
11. 中国現代文読解 (10)
12. 中国現代文読解 (11)
13. 中国現代文読解 (12)
14. 中国現代文読解 (13)
15. 中国現代文読解 (14)

**6. 成績評価方法：**

授業参加態度 (発音・翻訳・応答などを含む) 50%、筆記試験 50%

**7. 教科書および参考書：**

教科書については初回ガイダンスの際に指示します。参考書については授業で適時、紹介します。

**8. 授業時間外学習：**

予習：単語の発音を調べ、文構造や文法事項に留意しながら試訳文を作成する。

復習：主要な単語や文を暗記し、文構造や文法事項を正しく理解できるようにする。

**9. その他：**

科目名：中国語基礎演習／ Chinese Literature (Introductory Seminar)

曜日・講時：前期 月曜日 5 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：馬 曉地 (准教授)

講義コード：LB31503, 科目ナンバリング：LHM-LIT214J, 使用言語：2ヵ国語以上

**1. 授業題目：**

中級会話

**2. Course Title (授業題目)：**

Chineses conversation

**3. 授業の目的と概要：**

毎週一つ的话题を決めて、早めに予習する上にそれをめぐって自由に話す。

**4. 学習の到達目標：**

日常会話及び学問に関する簡単な会話の能力を養成する。

**5. 授業の内容・方法と進捗予定：**

第1回 自己紹介

第2回 同上

第3回 家族

第4回 同上

第5回 友人

第6回 同上

第7回 趣味

第8回 同上

第9回 映画

第10回 同上

第11回 旅行

第12回 同上

第13回 運動

第14回 同上

第15回 まとめと試験

**6. 成績評価方法：**

会話試験 (50%) 出席 (50%)

**7. 教科書および参考書：**

プリント配布

**8. 授業時間外学習：**

予習と復習を重視する。

**9. その他：**

科目名：中国語基礎演習／ Chinese Literature (Introductory Seminar)

曜日・講時：後期 月曜日 5 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：馬 曉地 (准教授)

講義コード：LB41504, 科目ナンバリング：LHM-LIT214J, 使用言語：2ヵ国語以上

**1. 授業題目：**

中級会話

**2. Course Title (授業題目)：**

Chineses conversation

**3. 授業の目的と概要：**

毎週一つ的话题を決めて、早めに予習する上にそれをめぐって自由に話す。

**4. 学習の到達目標：**

日常会話及び学問に関する簡単な会話の能力を養成する。

**5. 授業の内容・方法と進捗予定：**

第1回 自己紹介

第2回 同上

第3回 夏休み

第4回 同上

第5回 大学

第6回 同上

第7回 授業

第8回 同上

第9回 読書

第10回 同上

第11回 漢詩

第12回 同上

第13回 食文化

第14回 同上

第15回 まとめと試験

**6. 成績評価方法：**

会話試験 (50%) 出席 (50%)

**7. 教科書および参考書：**

プリント配布

**8. 授業時間外学習：**

予習と復習を重視する。

**9. その他：**

科目名：中国文学各論／ Chinese Literature (Special Lecture)

曜日・講時：前期 火曜日 4 講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：馬 曉地 (准教授)

講義コード：LB52402, 科目ナンバリング：LHM-LIT303J, 使用言語：2カ国語以上

1. 授業題目：

唐詩と唐代社会 (胡曾の《詠史詩》)

2. Course Title (授業題目)：

On Tang poetry

3. 授業の目的と概要：

晩唐時代の詩人胡曾は上古から隋時代までの歴史を詠じる百五十首の詠史詩を作りました。これらの作品を一首一首精読し、詩の美しさを味わいながら、中国の歴史を勉強する。授業は輪番で報告してもらう形式で進める。授業中に中国語で大量の詩文を読むので、受講生は二年以上中国語学習歴を有することが望ましい。

4. 学習の到達目標：

唐詩の読解力を高める。特に中国語で唐詩及び文章を読む能力を養成すること。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 第1回 中国古代の詠史詩について
- 第2回 同上
- 第3回 唐代の詠史詩
- 第4回 同上
- 第5回 同上
- 第6回 同上
- 第7回 同上
- 第8回 詩人胡曾と彼の《詠史詩》
- 第9回 同上
- 第10回 同上
- 第11回 《詠史詩》精読
- 第12回 同上
- 第13回 同上
- 第14回 同上
- 第15回 まとめと復習

6. 成績評価方法：

レポート (50%) 出席 (50%)

7. 教科書および参考書：

プリント配布

8. 授業時間外学習：

予習と復習を重視する。

9. その他：

科目名：中国文学各論／ Chinese Literature (Special Lecture)

曜日・講時：後期 火曜日 4講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：馬 曉地 (准教授)

講義コード：LB62401, 科目ナンバリング：LHM-LIT303J, 使用言語：2ヵ国語以上

1. 授業題目：

唐詩と唐代社会 (胡曾の《詠史詩》)

2. Course Title (授業題目)：

On Tang poetry

3. 授業の目的と概要：

晩唐時代の詩人胡曾は上古から隋時代までの歴史を詠じる百五十首の詠史詩を作りました。これらの作品を一首一首精読し、詩の美しさを味わいながら、中国の歴史を勉強する。授業は輪番で報告してもらう形式で進める。授業中に中国語で大量の詩文を読むので、受講生は二年以上中国語学習歴を有することが望ましい。

4. 学習の到達目標：

唐詩の読解力を高める。特に中国語で唐詩及び文章を読む能力を養成すること。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 第1回 中国古代の詠史詩について
- 第2回 同上
- 第3回 唐代の詠史詩
- 第4回 同上
- 第5回 同上
- 第6回 同上
- 第7回 同上
- 第8回 詩人胡曾と彼の《詠史詩》
- 第9回 同上
- 第10回 同上
- 第11回 《詠史詩》精読
- 第12回 同上
- 第13回 同上
- 第14回 同上
- 第15回 まとめと復習

6. 成績評価方法：

レポート (50%) 出席 (50%)

7. 教科書および参考書：

プリント配布

8. 授業時間外学習：

予習と復習を重視する。

9. その他：

科目名：中国文学各論／ Chinese Literature (Special Lecture)

曜日・講時：前期集中 その他 連講

セメスター：集中(5), 単位数：2

担当教員：川合 康三 (非常勤講師)

講義コード：LB98807, 科目ナンバリング：LHM-LIT303J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：**

中国の詩学

**2. Course Title (授業題目)：**

Chinese Poetics

**3. 授業の目的と概要：**

中国古典詩の特質を考察する。

個々の作品及び詩人に関する研究には、すでに中国・日本・西欧に大きな蓄積があるが、中国古典詩の全体を貫く特質について、西欧・日本の詩とも比較しつつ考える。

**4. 学習の到達目標：**

中国古典詩全般に対する理解を深める。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

詩作品及び詩に関する言説を取り上げながら、それをもとに講述する。講義形式で行うが、随時、意見の提起を歓迎する。

- 1 詩とは何か、詩学とは何か。
- 2 中国古典詩の特質1—道徳性
- 3 中国古典詩の特質2—政治性
- 4 中国古典詩の特質3—社会性
- 5 中国古典詩の担い手
- 6 恋愛の詩と友情の詩
- 7 女たちの文芸
- 8 伝統の一貫性
- 9 伝統の変容
- 10 詩と感情
- 11 詩と景物
- 12 人生の詩・靈感の詩
- 13 詩の動機
- 14 事実と虚構
- 15 詩の存在意義

**6. 成績評価方法：**

授業中の発言 (50%)

レポート (50%)

**7. 教科書および参考書：**

教科書：資料を配付する。

参考書：川合康三『中国名詩選 (上中下)』(岩波文庫)

**8. 授業時間外学習：**

前もって配布する資料を各自読んでおくこと。

**9. その他：**

積極的に発言することを求める。発言の正否は問わない。

**科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)**

**曜日・講時：**後期 水曜日 4 講時

**semester：**6, **単位数：**2

**担当教員：**土屋 育子 (准教授)

**講義コード：**LB63402, **科目ナンバリング：**LHM-LIT318J, **使用言語：**2カ国語以上

**1. 授業題目：**

中国の通俗文学を読む

**2. Course Title (授業題目)：**

Chinese Popular Literature

**3. 授業の目的と概要：**

中国近世の白話文学作品の読解を通して、中国の俗文学に関する基礎的な知識を学ぶとともに、原文の読解力、分析し鑑賞する力を習得します。授業は、発表と質疑応答によってすすめます。今学期は出席者の希望により決定します。

**4. 学習の到達目標：**

- (1) 中国近世の白話文の読解力を向上させる。
- (2) 白話文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。
- (3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。
- (4) 歴史的背景を基に、白話文学作品がどのように変遷してきたかを理解する。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

内容及び進度予定は以下のとおりである。

1. イントロダクション
2. 作品について
3. 発表と質疑応答 (1)
4. 発表と質疑応答 (2)
5. 発表と質疑応答 (3)
6. 発表と質疑応答 (4)
7. 発表と質疑応答 (5)
8. 発表と質疑応答 (6)
9. 発表と質疑応答 (7)
10. 発表と質疑応答 (8)
11. 発表と質疑応答 (9)
12. 発表と質疑応答 (10)
13. 発表と質疑応答 (11)
14. 発表と質疑応答 (12)
15. 発表と質疑応答 (13)

**6. 成績評価方法：**

出席：30%

発表・授業への取り組み：70%

**7. 教科書および参考書：**

テキストはプリントを配布。Textbooks are handed out at the beginning of the course.

参考文献は授業中に指示。References books will be designated at every class.

**8. 授業時間外学習：**

辞書を用いて予習・復習することを原則とします。原文の一字一字についてそれがどのような意味か、その箇所が前後の文脈からどのような状況を言っているのか、などに気を配りながら、丁寧な学習をこころがけてください。

**9. その他：**

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：前期 水曜日 5講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：土屋 育子 (准教授)

講義コード：LB53502, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：2ヵ国語以上

1. 授業題目：

中国の通俗文学を読む

2. Course Title (授業題目)：

Chinese Popular Literature

3. 授業の目的と概要：

中国近世の白話文学作品の読解を通して、中国の通俗文学に関する基礎的な知識を学ぶとともに、原文の読解力、分析し鑑賞する力を習得することを目的とします。授業は、発表と質疑応答によって進めます。今学期は『西遊記』を取り上げます。

4. 学習の到達目標：

- (1) 中国近世の白話文の読解力を向上させる。
- (2) 白話文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。
- (3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。
- (4) 歴史的背景を基に、白話文学作品がどのように変遷してきたかを理解する。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりである。

1. イントロダクション
2. 作品について
3. 発表と質疑応答 (1)
4. 発表と質疑応答 (2)
5. 発表と質疑応答 (3)
6. 発表と質疑応答 (4)
7. 発表と質疑応答 (5)
8. 発表と質疑応答 (6)
9. 発表と質疑応答 (7)
10. 発表と質疑応答 (8)
11. 発表と質疑応答 (9)
12. 発表と質疑応答 (10)
13. 発表と質疑応答 (11)
14. 発表と質疑応答 (12)
15. 発表と質疑応答 (13)

6. 成績評価方法：

出席：30%

発表・授業への取り組み：70%

7. 教科書および参考書：

テキストはプリントを配布。

参考文献は授業中に指示。

8. 授業時間外学習：

辞書を用いて予習・復習することを原則とします。原文の一字一字についてそれがどのような意味か、その箇所が前後の文脈からどのような状況を言っているのか、などに気を配りながら、丁寧な学習をこころがけてください。

9. その他：

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：前期 木曜日 2講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：馬 曉地 (准教授)

講義コード：LB54205, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：2ヵ国語以上

**1. 授業題目：**

中国当代文学研究

**2. Course Title (授業題目)：**

Chinses modern novel

**3. 授業の目的と概要：**

中国当代の有名な女性作家の代表作品を選んで精読し、面白い内容と新鮮な言語表現を味わう。今年叶广芩氏の京味小説《全家福》を読む。授業は輪番で報告してもらう形式で進める。

**4. 学習の到達目標：**

中国当代の文学作品の読解力を高めること。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

第1回 中国当代女性作家と代表作品

第2回 同上

第3回 叶广芩と彼女の《全家福》

第4回 同上

第5回 同上

第6回 同上

第7回 同上

第8回 《全家福》第11章の精読

第9回 同上

第10回 同上

第11回 同上

第12回 同上

第13回 同上

第14回 同上

第15回 まとめと復習

**6. 成績評価方法：**

レポート (50%)、出席 (50%)

**7. 教科書および参考書：**

プリント配布

**8. 授業時間外学習：**

予習と復習を重視すること。

**9. その他：**

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：後期 木曜日 2講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：馬 曉地 (准教授)

講義コード：LB64204, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：2カ国語以上

**1. 授業題目：**

中国当代文学研究

**2. Course Title (授業題目)：**

Chinses modern novel

**3. 授業の目的と概要：**

中国当代の有名な女性作家の代表作品を選んで精読し、面白い内容と新鮮な言語表現を味わう。今年叶广芩氏の京味小説《全家福》を読む。授業は輪番で報告してもらう形式で進める。

**4. 学習の到達目標：**

中国当代の文学作品の読解力を高めること。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

第1回 叶广芩と彼女の《全家福》

第2回 同上

第3回 同上

第4回 《全家福》第11章の精読

第5回 同上

第6回 同上

第7回 同上

第8回 同上

第9回 同上

第10回 同上

第11回 同上

第12回 同上

第13回 同上

第14回 同上

第15回 まとめと復習

**6. 成績評価方法：**

レポート (50%)、出席 (50%)

**7. 教科書および参考書：**

プリント配布

**8. 授業時間外学習：**

予習と復習を重視すること。

**9. その他：**

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：前期 金曜日 1 講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：矢田 尚子 (教授)

講義コード：LB55101, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：2カ国語以上

**1. 授業題目：**

楚辞文学研究

**2. Course Title (授業題目)：**

Literary Study of Chu Ci

**3. 授業の目的と概要：**

【目的】中国古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文文学作品『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を解説します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

**4. 学習の到達目標：**

- ①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的事項を理解し、実際に運用することができる。
- ②分かりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。
- ③レジュメや発表の内容を理解して疑問点や問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

1. ガイダンス
2. 『楚辞』について(1)
3. 『楚辞』について(2)
4. 『楚辞』「離騷」の解説(1)
5. 『楚辞』「離騷」の解説(2)
6. 『楚辞』「離騷」の解説(3)
7. 『楚辞』「離騷」の解説(4)
8. 『楚辞』「離騷」の解説(5)
9. 『楚辞』「離騷」の解説(6)
10. 『楚辞』「離騷」の解説(7)
11. 『楚辞』「離騷」の解説(8)
12. 『楚辞』「離騷」の解説(9)
13. 『楚辞』「離騷」の解説(10)
14. 『楚辞』「離騷」の解説(11)
15. 『楚辞』「離騷」の解説(12)

**6. 成績評価方法：**

授業参加態度 (質疑応答) 50%、発表内容 (レジュメおよび口頭での説明) 50%

**7. 教科書および参考書：**

教科書については初回ガイダンスの際に指示します。参考書については授業で適時、紹介します。

**8. 授業時間外学習：**

予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、疑問点・問題点を発見すること。

復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に反映させることができるよう理解を深めておくこと。

**9. その他：**

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：後期 金曜日 1 講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：矢田 尚子 (教授)

講義コード：LB65102, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：2カ国語以上

**1. 授業題目：**

楚辞文学研究

**2. Course Title (授業題目)：**

Literary Study of Chu Ci

**3. 授業の目的と概要：**

【目的】中国古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文文学作品集『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を解説します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

**4. 学習の到達目標：**

- ①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的事項を理解し、実際に運用することができる。
- ②分かりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。
- ③レジュメや発表の内容を理解して疑問点や問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

1. ガイダンス
2. 『楚辞』について(1)
3. 『楚辞』について(2)
4. 『楚辞』「離騷」の解説(1)
5. 『楚辞』「離騷」の解説(2)
6. 『楚辞』「離騷」の解説(3)
7. 『楚辞』「離騷」の解説(4)
8. 『楚辞』「離騷」の解説(5)
9. 『楚辞』「離騷」の解説(6)
10. 『楚辞』「離騷」の解説(7)
11. 『楚辞』「離騷」の解説(8)
12. 『楚辞』「離騷」の解説(9)
13. 『楚辞』「離騷」の解説(10)
14. 『楚辞』「離騷」の解説(11)
15. 『楚辞』「離騷」の解説(12)

**6. 成績評価方法：**

授業参加態度 (質疑応答) 50%、発表内容 (レジュメおよび口頭での説明) 50%

**7. 教科書および参考書：**

教科書については初回ガイダンスの際に指示します。参考書については授業で適時、紹介します。

**8. 授業時間外学習：**

予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、疑問点・問題点を発見すること。

復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に反映させることができるよう理解を深めておくこと。

**9. その他：**